

来ていましたので、今回はそれをさらに発展させる形で、なるべく見やすく・分かりやすくなるよう心がけてデザインいたしました。また、出版にかかる費用をなるべく抑えるために、抄録集は印刷のみ、CD-ROMに関してもプレスだけを各業者さんにお願ひし、InDesignなどのソフトを用いることにより、すべて自前で編集・データ作成等を行いました。当初は、スクリプト等を駆使して自動化を進めればそれほど手間ではないだろうと考えていたのですが、実際に作業をはじめると発表件数がやはりそれなりにあるため、簡単には進まない箇所もあり、作業している最中には見通しが少し甘かったのではと反省したりもしました。しかし、終わってしまえば、完成した喜びの方が大きく、出版という形で今回の大会の運営に微力ながらも関わられたことを大変うれしく思っています。



第10回記念大会論文抄録集

今回の出版作業では、他の実行委員の方々にも原稿作成を一部ご分担頂いたり、業者との交渉を代理で行って頂くなど、お世話になっております。特に、河口先生には抄録集の表紙に使用されている画像を快く提供して頂きました。この場を借りてお礼を申し上げます。

WEB 担当より

嵯峨 智

WEB 担当 (東京大学)

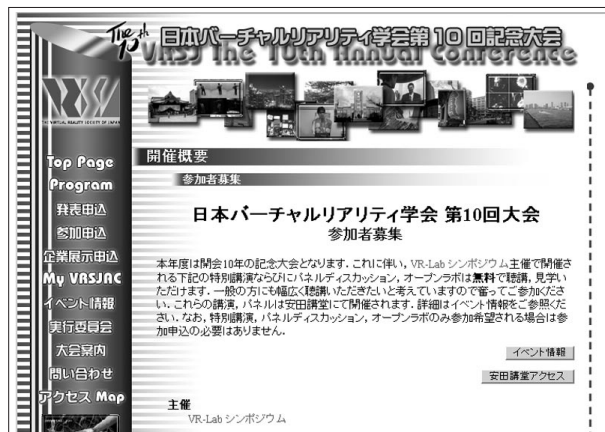
本年度は、VR学会年次大会の10周年記念大会ということで、webとしてもそれに相応しいものを目指さなければいけないというプレッシャーがかかる仕事になりました。しかしながら、昨年度に完成されたwebシステムが構築されていましたので、細かなデザインのみには手を加える形で対応しました。

私の方であわせてデザインさせていただいたリーフレットでは、「VR、これまでの10年、これからの10年」というパネルテーマに基づいて、一つの柱が1年を表し、20本の柱が前後にそびえるようなものとなりました。このデザインとあわせてwebでは、本年度の柱から様々な情報が引き出されるような形をとることとしました。ま

た、VRの未来を遠望して、透明感のあるデザインを目指しました。このwebの評価は皆様のご判断にお任せしたいと思います。

web運営に関しては、コンテンツやデータベースなどに対し、web担当である私が管理範囲を明確にできていない部分がありました。このために情報更新が遅かったり、ページ間で矛盾する情報が掲載されているなど、実行委員やユーザの皆様にご迷惑をおかけしました。この点に関し、web委員として大変申し訳なく思います。しかしながら、周囲の方々のご協力のおかげをもちまして、大過なくすごすことができました。ありがとうございます。

最後に本年度の盛会にわずかでも本webが貢献できていればと期待しつつ、来年度のさらなる盛会を祈念して報告とさせていただきます。



第10回記念大会 Web ページ

総務担当より

奈良高明

総務担当 (東京大学)

細々とした仕事が多く総括の難しい総務担当だが、一点、大会運営アルバイトに関して記しておきたい。3日間の大会期間中、28人、約398.5時間、これがアルバイトの総人数・総時間数である。割振をしてみて、改めて学生アルバイトの皆さんの尽力無くして、大会の円滑な運営は無いということを実感した。実際、9月に入ってからの募集になったにもかかわらず積極的な応募があり、また実に献身的に運営をしていただいた。多くの方々にご協力いただき、大会が無事終了したことに感謝している。